

小学校 第3学年 社会 火事からくらしを守る（東京書籍 新編 新しい社会3）

○単元の目標

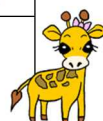
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
- 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解することができる。 - 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることができる。	施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することができる。	- 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする。 - 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を高めようとする。

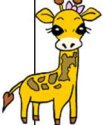
○探究の過程

①課題の設定	自分の住む町の火災の発生状況や、火災が起こる理由などを考えることで、私たちのくらしを守る人々のはたらきや工夫を自分に関係があることとして捉える。
②情報の収集	自分の住む町の火災の概要を調べたり、実際に消防署で働く人々の様子を見学・調査したりすることで、情報を収集する。
③整理・分析	これまで学習してきたことをまとめ、火災を防ぐために働く人々を関係図(イメージマップ)にまとめる。
④まとめ・表現	これまで学んだ学習を振り返り、大切だと思う言葉から特に伝えたいものを選び、火災を起こさないようにする標語を考える。

○単元計画（8時間扱い）

時	目標	学習活動	探究の過程
1	自分の町で起きている火災の発生状況や、イラストから火災が起きた際の関係機関の活動の様子を理解できる。	自分の町の火災の発生概要や火災が起きたときのイラストを見て気付いたことを話し合う。	①
2	火災から地域の安全を守る働きについて予想し、学習計画を立てることができる。	学習問題について予想し、調べること、調べ方やまとめ方について話し合う。	
3	消防署の設備や働く人たちの普段の仕事の様子、日頃の備えについて理解できる。	消防署や消防士の写真や動画から、どのような準備をするか考える。	②
4	火災に素早く対応できる通信指令室の役割や関係機関との協力体制について理解できる。	通信指令室の様子や絵本から火災が起きたときの連絡の流れについて調べる。	
5	消防施設の配置の工夫について考え、火災から人々の安全を守るために計画的に配備されていることを理解できる。	学校や町には様々な消火設備があることを調べ、分かったことや考えたことを基に話し合う。	
6	消防団の取組について調べることを通して、消防団は消防署や地域と協力しながら、火災に備えていることを理解できる。	消防団の訓練や活動について聞き取りをしたり見学をしたりしながら、消防団の取組について話し合う。	



7	火災からくらしを守る人々の働きについて関係図にまとめることを通して、関係機関の働きや相互の関係、地域の人々との協力について考えることができる。	・これまで調べた火災からくらしを守る人々の活動を関係図にまとめる。	③	
8	消防署の設備や働く人たちの普段の仕事の様子、日頃の備えについて理解し、火事を防ぐために自分ができることを考えることができる。	・これまでの学習を振り返り、火災を防ぐためには、どうしたらよいか話し合い、短い文章(標語)としてまとめ、発表する。	④	

【①課題の設定 単元や節を貫く課題を設定させタイ】

1 単元名「火事からくらしを守る」(東京書籍 新編 新しい社会3)

2 本時の計画

目標	自分の町で起きている火災の発生状況や、イラストから火災が起きた際の関係機関の活動の様子を理解できる。
探究の過程 課題の設定	自分の住む町の火災の発生状況や、火災が起こる理由などを考えることで、私たちのくらしを守る人々のはたらきや工夫を自分に関係があることとして捉える。

○指導過程

[illegible]

【②情報の収集 課題解決に必要な情報を収集させタイ】

1 単元名「火事からくらしを守る」(東京書籍 新編 新しい社会3)

2 本時の計画

目標	消防署の設備や働く人たちの普段の仕事の様子、日頃の備えについて理解できる。
探究の過程 情報の収集	自分の住む町の火災の概要を調べたり、実際に消防署で働く人々の様子を見学・調査したりすることで、情報を収集する。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 10分	1 消防署で働く人々の一日について考える。 ○消防署で働く人たちは、どのように一日を過ごしているのでしょうか。 ◆いつ火事が起きるか分からないから準備はしてそう。 2 どのようにして調べるか考える。 ○調べる方法を考えましょう。 ◆インターネットで調べる。 ◆図書室で調べる。	グループ 一斉	◎「出勤していないときは何をしていますか」という発問から、普段目にしていない消防士の様子を想起させる。 ◎インターネットだけでなく、働いている人に直接聞くなど、調べる方法について考えさせる。
	消防署の人たちはどのようなことをしているのでしょうか。		
展開 25分	3 自分の考えた調べる方法を発表する。 ○どんな調べ方がありますか。 ◆インターネット ◆インタビュー 4 考えた方法で、情報を集める。 ○情報を集めましょう。 ◆インターネットで調べる。 ◆電話をかける。 5 消防署で働く人々の動画を見て、工夫や努力に気付く。 ○消防署で働く人々は、どんな工夫や努力をしていますか。 ◆交代で勤務している。 ◆24時間火事に対応できるようにしている。	個別 グループ 一斉	◎まずは調べる方法を発表し、その後に実際にできそうなやり方を学級でまとめる。 ◎自分の住む町について知るような方法を優先させる。 ◎それぞれの町の火災概要などのデータが難しかったり、なかったりする場合には、絵本や動画などで補足する。 ◎防火服や道具の工夫、勤務体系の工夫、消防車の装備や機能などから、いつでも、どこへでも、安全に火事を防ぐ(消火する)工夫をしていることに気付くよう指導する。 情報の収集 
終結 10分	6 調べたことや動画から分かったことをまとめ、発表する。 ○分かったことを発表しましょう。	個別	◎次時以降は、消防署以外の働きや工夫など、広げて考えていくことを示す。

第3学年 社会科学習指導案(第7時)

【③整理・分析 情報を整理させタイ】

1 単元名「火事からくらしを守る」(東京書籍 新編 新しい社会3)

2 本時の計画

目標	火災からくらしを守る人々の働きについて関係図にまとめることを通して、関係機関の働きや相互の関係、地域の人々との協力について考えることができる。
探究の過程 整理・分析	これまで学習してきたことをまとめ、火災を防ぐために働く人々を関係図(イメージマップ)にまとめる。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 10分	1 これまで学んできたことを振り返り、学習に出てきた「言葉」を確認する。 ○これまで毎時間まとめなどに書いてきた大事な言葉を発表しましょう。 2 通信指令室から、どのような連絡が送られ、消火活動につながっているか考える。	一斉 一斉	◎「消防士」「通信指令室」「消防施設」「消防団」などの言葉を押さえる。
これまでの学習を振り返り、分かったことをまとめよう。			
	○通信指令室ではどんなことをしていますか。 ◆通信指令室を中心にしているいろいろなところに連絡していた。 ◆いろいろな機関が力を合わせることで火事は防がれていた。		◎これまでの学習を参考にしながら、どのようなつながりがあるか、考えさせる。 ◎図を児童と共に黒板等に示しながら記入し、イメージマップの書き方をつかませる。 整理・分析 
展開 25分	3 出来上がったイメージマップを使い、それぞれを結んだ線について話し合わせる。 ○消防署と病院は、どのようなつながりがあると思いますか。 ◆消防署と病院は、救急車でつながりがあると思う。 4 線を結んだことによって分かったことを発表する。 ○線を結んで、どんなことが分かりましたか。 ◆それぞれの機関もつながりがあるということが分かった。	ペアやグループ 一斉	◎出来上がったイメージマップに線を引かせ、どういう関係があるかや、どのようにつながっているか考えさせる。 ◎火事に関する関係機関は協力し合っていることをつかませるため、通信指令室からの線だけでなく、関係機関同士を結び、その意味を考えさせたり、説明させたりする。 整理・分析  ◎線を結ばせ、各機関のつながりに気付かせる。
終結 10分	5 次回に取り組むことを確認する。 ○次回は、自分ができていることを考えます。 ◆火事のときに自分ができていることはあるのかな。	一斉	◎この時間で作ったイメージ図に、次時「自分」を加えて自分ができていることを考える。

第3学年 社会科学習指導案(第8時)

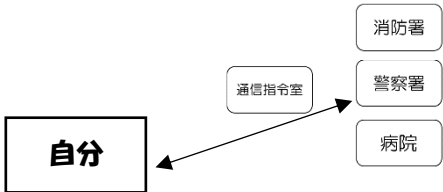
【④まとめ・表現 次の課題を見付けさせタイ】

1 単元名「火事からくらしを守る」(東京書籍 新編 新しい社会3)

2 本時の計画

目標	消防署の設備や働く人たちの普段の仕事の様子、日頃の備えについて理解し、火事を防ぐために自分ができることを考えることができる。
探究の過程 まとめ・表現	これまで学んだ学習を振り返り、大切だと思う言葉から特に伝えたいものを選び、火災を起こさないようにする標語を考える。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 5分	1 これまでの学習を振り返る。 ○前時に書いていた関係図から、出てきた機関について振り返りましょう。 2 関係図の中に「自分」を書き込む。 ○前回記入した図の中に「自分」を書き込み、線で結びましょう。	一斉 一斉	◎関係図の線の意味や、出てきた機関(警察署など)を確認する。 ◎前回記入した図の中に「自分」を書き込み、関係機関と線で結ぶことで、その意味を考えさせるようにする。
展開 25分	3 自分と関係機関のつながりを考える。 火事を防ぐために、関係図を見ながら自分ができることを考えよう。 ○関係図からどんなことが分かりますか。 ◆消防署を結ぶと、消防署は自分たちを火事から守ってくれていると分かる。 ◆警察署は犯罪を防ぐだけでなく、火事の時も活躍している。 4 学習したことを基に標語づくりをする。 ○関係図を見ながら、大切だと思う言葉を見付け、標語を作りましょう。 ◆「火の用心 みんなでやるのが 大切だ」 ◆「つけた火は みんなで確認 消えるまで」	ペアやグループ 個別	◎例として一つを全体で考え、その後はペアやグループで考えさせる。 ◎線に矢印を足し、自分からできること、相手が自分たちにしてきていること双方向で考えるようにする。  ◎できるだけ五・七・五にまとめる。 ◎実際の標語大会等に出品することも考慮に入れる。 まとめ・表現 
終結 15分	5 作った標語を発表し合い、学習をまとめる。 ○これまでの学習から、気付いたことや、更に考えてみたいことはありますか。 ◆火事のと看以外にも、困ったことがあれば助けてくれる人がいると思う。 ◆火事のと看に働くのは、消防署だけではなくと改めて気付いた。	一斉	◎火事を起こさないように努力することが、自分たちができることの一つであることに気付かせるようにする。 ◎様々な機関や人が協力して、私たちの生活を守ってくれていることに気付かせる。